

## お手入れ（ホルン）

## ホルン

ホルンはロータリーバルブのコンディションが命です。各種オイルを使いこなしてスムーズなローターの動きをキープしましょう。

## ■ 演奏前の注意

## 演奏の準備



1 デタッチャブルベルの場合は、ベルの内側から支えるように手を入れ、内側から回すようにして取り付けましょう。



2 マウスピースは軽く回すように差し込みましょう。強く押し込んだり、差し込んだマウスピースを叩いたりしないでください。

## 楽器の置き方

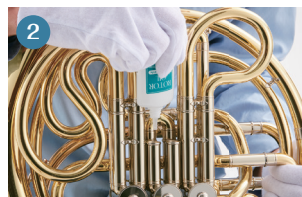


練習の合間に楽器を置く場合はスタンドに立てるか、人や物がぶつからないように注意しましょう。レバーやバルブを上下どちらかにに向けて置くかはホルンの形によります。どちらの場合でも広い机の上にバランスよく安定させて置いてください。バルブを上に向けて置く時はリードパイプやマウスピースを傷付けたり、凹ませたりしないよう気を付けてください。

## ■ 演奏前のお手入れ



1 ローターオイルは毎日少しずつ、または動きに違和感があったら都度さしてください。



2 抜差管を抜いて、ローターにつながる管が真上を向くように持ち、ローターオイルをまっすぐ下に2~3滴ずつさしましょう。オイルやノズルの先端が管壁やローターに触れないよう注意してください。



1 管内やマウスピースにしわを伸ばしたスワブを通して溜まった水を取り除いてください。マウスパイプは主管抜差管を抜いてから慎重にゆっくりと通しましょう。



2 管表面に付いた汚れや指紋をポリッシングクロスで優しく丁寧に拭き取って完了です。

## ■ 週に1度のお手入れ



1 各抜差管にスライドグリスを薄くぬりましょう。はみ出したグリスは拭き取ってください。※古いグリスはあらかじめ拭き取っておきましょう。



2 ロータリーバルブのキャップを外し、ローター軸と軸受部の間にロータースピンドルオイルを1~2滴さしましょう。



3 裏側のローター回転軸と軸受部にも同様に少量さしてください。はみ出たオイルはガーゼなどで拭き取りましょう。



4 ガーゼを巻いたクリーニングロッドで管内の汚れを取り除いてください。管内に当たらないよう、ロッドの先端をガーゼで覆いましょう。ガーゼを巻いた方向にゆっくり回しながら出し入れしてください。



5 マウスピースブラシSにブラソープの水溶液を含ませ、スロートを洗いましょう。汚れが落ちたら水で十分に洗い流してください。